



平成22年度きょうと農商工連携 応援ファンド支援事業採択事例集

京 公 益 財 団 法 人 京 都 産 業 2 1
農 業 ビ ジ ネ ス セ ン タ ー 京 都

平成22年度きょうと農商工連携ファンド支援事業採択事業一覧

頁	代表	申請者名	所在地	地域	分野	テーマ名・内容
1	○ 農林漁業者 中小企業者	全国農業協同組合連合会京都府本部	京都市	京都	商品開発	京都産牛乳及び農畜産物を使用し、手軽に栄養を摂取できるフリーズドライ食品の開発、販売
		京都府牛乳商業組合	京都市			・全農が京都府牛乳商業組合と連携、高齢者や中高生をターゲットにした牛乳スープやリゾット、お粥など栄養価の高い手軽なフリーズドライ食品を開発して販売を図る。
2	○ 農林漁業者 中小企業者	湊漁業協同組合	京丹後市久美浜町	京都丹後	商品開発	京丹後産鰯の西京味噌漬けと鰯燻しで新たな京都ブランド化事業
		(有)亀弥 (西京味噌付け専門店)	京都市下京区			・湊漁協が京都の老舗水産物加工業者と連携、近年丹後で水揚げされるようになった鰯を京都の西京味噌漬け専門店が加工し、百貨店、通販、また京のほんまもん塾を通じて弁当の一品としても販売を図る。
3	○ 農林漁業者 中小企業者	京北銘木生産協同組合	京都市右京区	京都	商品開発	北山杉を使った京箸等の新しい京都ブランド產品による新販路の開拓
		(株)結人(けんじん) (インテリア等の企画開発・製造・販売)	京都市中京区			・協同組合がインテリアや調理用具の製造・卸を行っている企画提案型ベンチャー中小企業者と連携、北山杉を使用した京箸等のブランド化を一層進めていくために、見本市などを通じてバイヤーにアピール、販路の拡大を図る。
4	○ 農林漁業者 中小企業者	京都農業協同組合	龜岡市	京都丹後	商品開発	京丹後地域における新しい特產品の開発及び過疎地域活性化事業
		(株)西利 (漬物製造販売)	京都市下京区			・JA京都がつけもの製造販売業者と連携、丹後に自生する花わさび、こごみ、山蕗、蕗の薹、山の芋等これまで漬物として利用されていない原材料を漬物として加工し京丹後地域特産物のブランド化、農業者の収入拡大と過疎地域の活性化を図る。
5	○ 農林漁業者 中小企業者	京都農業協同組合	龜岡市	京都丹後	商品開発	京都祇園で京都農作物の「食味実感型」アンテナショップ展開
		(株)八代目儀兵衛 (米卸販売、飲食)	京都市下京区			・JA京都が米販売業者と連携、米などの丹後地域の優れた農産物について祇園から情報を発信、インターネット等を通じてブランド化の推進や販路開拓を図る。
6	○ 農林漁業者 中小企業者	河原林酒米生産グループ	龜岡市	南丹	商品開発	京都の原材料にこだわった和風洋菓子「京まかろん」の製造・販売
		丹山酒造(有)	龜岡市			・地元酒造業者が農家と連携、酒の製造過程で出る米粉のほか地域農産物の消費拡大が図れるように牛乳や卵など南丹地域にこだわった材料を使用、京風にアレンジした仏蘭西焼き菓子マカロンを開発製造、女性社氏のセンスを活かして女性をターゲットに日本酒とセットで販売。
7	○ 農林漁業者 中小企業者	農事組合法人 かわい	福知山市三和町	中丹	商品開発	地元商品のブランド化による地域活性化
		(株)京都庵 (豆腐・油揚げ製造等)	福知山市三和町			・地域農家の7割が参加し、減農薬・有機栽培を行っている農業生産法人と油揚げや和惣菜の製造を行っている中小企業者との連携、三和町地域の農産物だけで作ったこだわりのいなり寿司の開発・生産・販売とブランド化。

頁	代表	申請者名	所在地	地域	分野	テーマ名・内容
8	○	養老水視組合 (地元漁業権者グループ)	宮津市	丹後 中丹	商品開発	丹後アカモクプロジェクト ～アカモクを利用した商品の開発・販売～ ・地元の海藻採取グループが中間加工業者及び加工販売業者と連携、未利用資源であった海藻アカモクを加工して新商品（アカモク玄米等）を製造・販売、アカモク利用の促進を図るためにPRや研究を行う。
		(株)加悦ファーマーズライス (食品製造業)	与謝野町			
		かねと食品 (水産加工業)	舞鶴市			
9	○	(有)丹後ジャージー牧場 (牛乳製造・加工)	京丹後市 久美浜町	丹後 京都	商品開発	はちみつ販売業者と連携した新しいアイスクリームの開発及び販売 ・ジャージ牛を扱う酪農家がハチミツ業者と連携、コクと風味が強いジャージ牛乳とハチミツを組み合わせて「はちみつアイス」を開発し製造・販売する。
		(株)金市商店 (蜂蜜等製造・卸し)	京都市 中京区			
10	○	農事組合法人 田吾作	京丹後市 久美浜町	丹後	商品開発	山・野・海、体験ロード再発見プロジェクト ・地域の農事組合法人が、バーベキューガーデン、賞ロッジなどを経営する中小企業者と3千人の利用者の農業体験などのメニューと連携連動させた体験、物販、商品開発を展開、併せて地域产品のブランド化を推進する。
		無人島 (衣料品小売・飲食業・貸しロッジ)	京丹後市 久美浜町			
11	○	畠郷ゆず栽培組合	南丹市 日吉町	南丹	流通改良等	地域資源を使ったスイーツ開発とゆず村の振興 ・ゆず生産農家グループ（創業）が農産加工を得意とする組合と連携して、ゆずを地域の特産品にするためスイーツの開発やPRなどを行う。
		農事組合法人グリーン日吉 (黒豆など農産物加工販売)	南丹市 日吉町			
12	○	ふらっと美山生産者の会	南丹市 美山町	南丹	流通改良等	障害者が取り組む地産地消の米粉パン製造販売事業と連携した野菜の一次加工事業 ・農業者グループ、地域法人、障害者施設が連携、規格外野菜を利用して餡やジャムを生産、障害者施設が米粉パンの具材として利用、地域法人が開発するスイーツと併せて直売所で販売する。
		(株)ネットワーク平屋 (農産物直売所の管理会社)	南丹市 美山町			
13	○	Association of 'UJICHA' to the world (仮称) (任意団体)	和束町	山城	輸出	世界3大名茶を目指し、宇治茶を全世界に広げよう ・343名のお茶農家で構成されるグループが地域農協と連携、海外に販路を求めて上海や韓国でお茶のPRや需要促進を行う。
		京都やましろ農業協同組合	京田辺市			

京都産牛乳及び農畜産物を使用し、手軽に栄養を摂取できるフリーズドライ食品の開発、販売

フードコーディネーターや栄養士の協力により60歳以上の高齢者及び朝食をとらない中高生をターゲットにし、京都府内産の牛乳及び安全安心な農畜産物を使用したリゾットなど栄養価の高い手軽なフリーズドライ食品の開発・販売を行う。

農林漁業者 全国農業協同組合連合会京都府本部 <京都市南区>

中小企業者 京都府牛乳商業組合 <京都市下京区>

連携参加者 協同宣伝(株)・日本ジフィー食品(株)等

【連携のねらい】

○農林漁業者

現在、消費の低迷している京の肉・京都産牛乳及び市場出荷できなかった規格外の京野菜を活用し、農家所得を向上したい。

○中小企業者

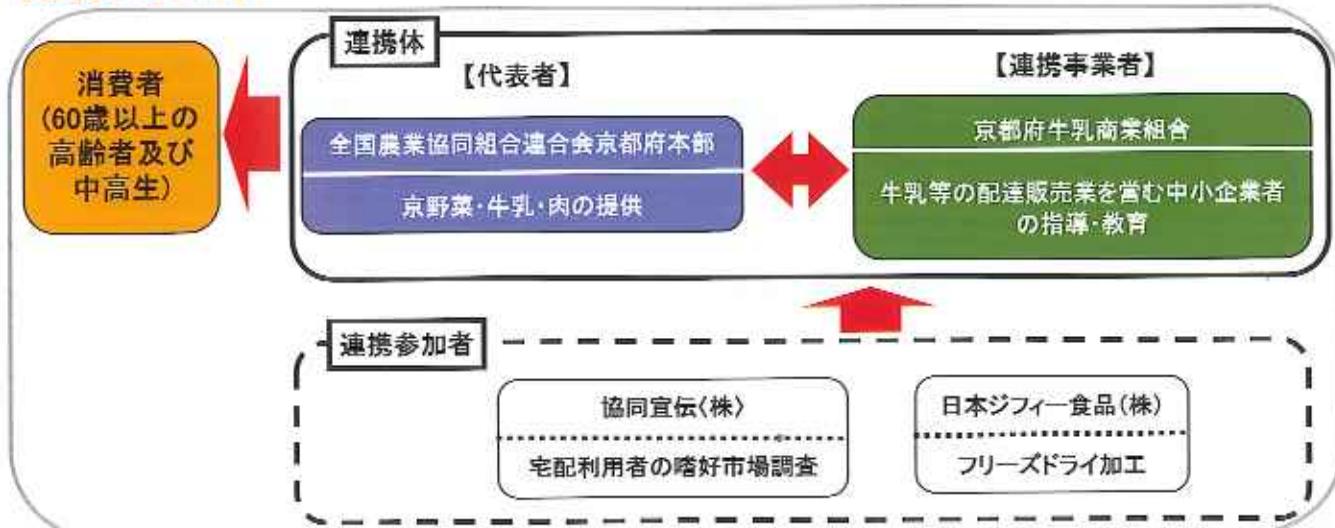
牛乳消費が低迷する中で、京都ならではのプライベート商品を開発し販売したい。

【他商品との違い】

安全・安心な京都産農畜産物だけを材料に使用した栄養価の高い手軽な食品は他にはない。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者 消費の低迷している京都産牛乳や規格外野菜の活用による農家所得の向上

京都産牛乳を使用することで、不需要期の余乳による加工向け牛乳の発生を抑制でき、また、規格外品野菜を活用することで農家所得の向上が期待される。

中小企業者 京都府牛乳商業組合・組合員の利益の向上

消費者ニーズに合わせ牛乳以外の健康食品を取り扱うことにより販売額が増加し、組合員の経営基盤を安定させる。

京丹後産鰯の西京味噌漬けと鰯燻して 新たな京都ブランド化事業

漁協が京都の老舗水産物加工業者と連携、丹後で水揚げされる漁獲量日本一の鰯・サゴシを京都の西京味噌漬け専門店が加工・販売を行い、京丹後産鰯・サゴシの西京漬としてブランド化を図る。

農林漁業者	湊漁業協同組合	〈京丹後市〉
中小企業者	有限会社 龜弥	〈京都市下京区〉
連携参加者	協同組合 京都ほんまもん塾等	

【連携のねらい】

○漁業者

新たな商品を作ることによって、安定した消費量を確保したい。



湊漁業組合イベント

○商工業者

京丹後産の鰯を使い、新商品を開発したい。

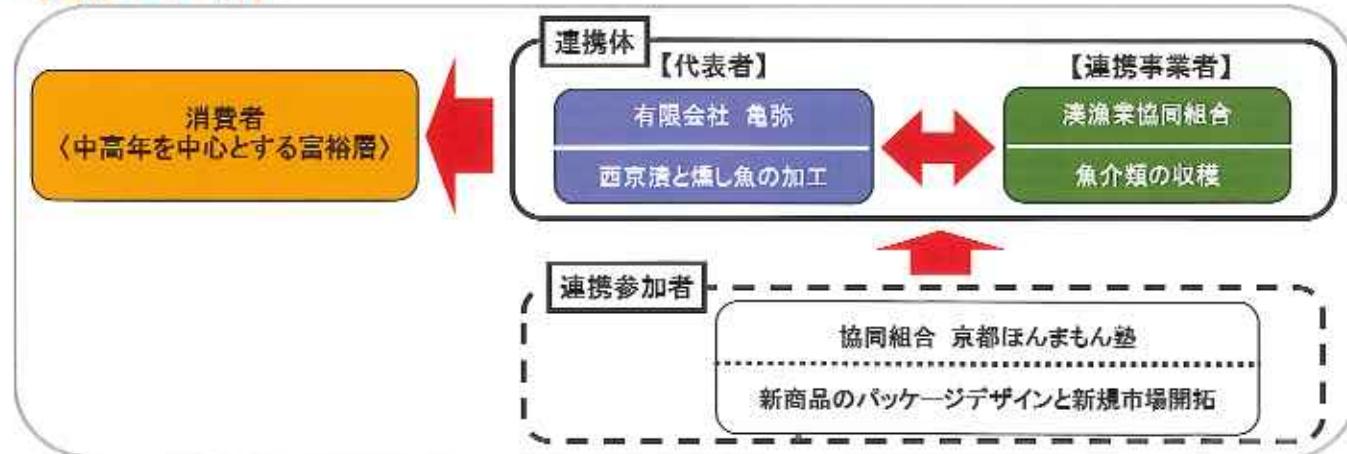


京都産原料の商品

【他の商品との違い】

京都産の原料・味噌・調味料を使い、京都で加工し、全て京都で作り上げたオール京都を全面に打ち出した商品は他にはない。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

京丹後産の魚のブランド化と集客数の増加

京丹後産水揚げ消費の増加により、京丹後産の魚のブランド化を進め、カニだけでなく魚介類でも認知を上げ、近隣温泉への集客へと導く。

中小企業者

新たな名産物の産出とそれに伴う経済活性化

亀弥の販路拡大に繋がるとともに、加工した商品を原材料の産地である丹後へお土産として戻すことにより、京丹後の名産物が増える。

北山杉を使った京箸等の新しい京都ブランド產品による新販路の開拓

銘木生産協同組合がインテリアや調理用具の製造・卸を行っている中小企業者と連携し、見本市などを通じて、北山杉を使用した京箸「ことほぐ」等のブランド化を進め、バイヤーにPRし販路拡大を図ることにより、北山杉の需要増加を目指す。

農林漁業者

京北銘木生産協同組合

〈京都市右京区〉

中小企業者

株式会社 結人

〈京都市中京区〉

【連携のねらい】

○林業者

国内産の材木を建築材として活用することが年々減少しており、新しい需要の喚起が喫緊の問題となっている。

○中小企業者

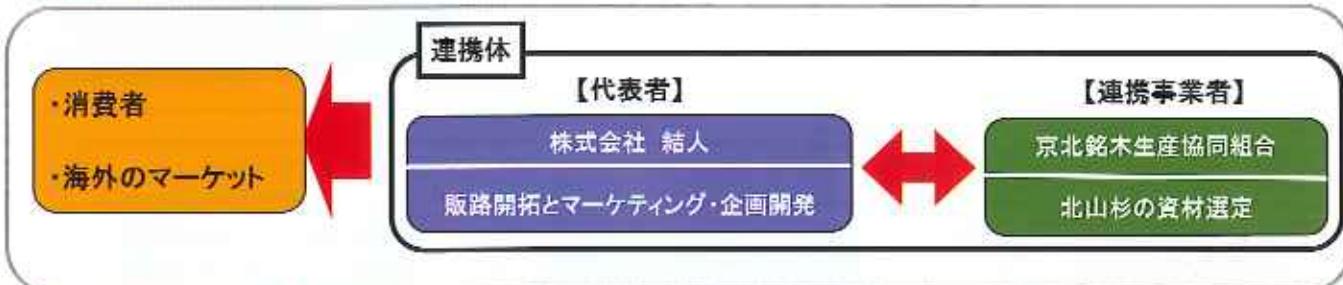
北山杉の振興ができる新たな企画開発により売り上げを増加したい。

【他商品との違い】

北山杉の塗箸は、ほとんど販売されていない。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

生産者の所得の向上と京都ブランドの拡大

建築材以外の新たな商品を開発し、活用方法を見いだすことにより、京都ブランドとしての価値の向上が期待される。また、北山杉の出荷本数が増加することによって、生産者の所得が向上する。

中小企業者

北山杉を使った製品の新たな企画の可能性

この商品を契機として、北山杉のブランド化が促進され、さらなる新しい用途を模索し企画することが可能となり売り上げが増加する。

京丹後地域における新しい特産品開発及び過疎地域活性化事業

丹後地域の過疎集落(農協)がつけもの製造販売業者と連携、丹後に自生する花わさび、ごみ、山蕗、蕗の薹、山の芋等これまで漬物として利用されていない原材料を漬物とし加工、農業者の収入拡大と過疎地域の活性化をはかる。

農林漁業者

京都農業協同組合

〈亀岡市〉

中小企業者

株式会社 西利

〈京都市下京区〉

【連携のねらい】

○農業者

京丹後地域の埋もれている山菜類を掘り起こし、栽培・育成することで新しい地域の特産物を作り出す。

○商工業者

他社にはない食材を使った地域特産物の販売が期待できる。



【他商品との違い】

花わさび、コゴミ、山蕗などを漬け物として販売するのは自社だけであり、京丹後産の様々な山菜類が季節により1年中提供、情報発信できる。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

農業者の収入拡大と過疎化地域の活性化

現在、埋もれている山菜類を商品として掘り起こすことにより、農業者の収入拡大、過疎化地域の活性化を行うことができる。

中小企業者

京丹後地域特産物のブランド化の確立

他社で販売していない漬物を販売することで、新しい京丹後地域特産物のブランドの確立ができる。

京都祇園で京都農作物の「食味実感型」アンテナショップ展開

京都農業協同組合が米販売業者と連携し、丹後コシヒカリなどの丹後地域の優れた農産物を祇園から情報発信し、「食味実感型」のアンテナショップを通じてブランド化の推進や販路開拓を図る。

農林漁業者

京都農業協同組合

〈亀岡市〉

中小企業者

株式会社 八代目儀兵衛

〈京都市下京区〉

【連携のねらい】

○農業者

お米の消費量がますます減少傾向にある今、米の供給量を増やすとともに、安定供給を図る。

○中小企業者

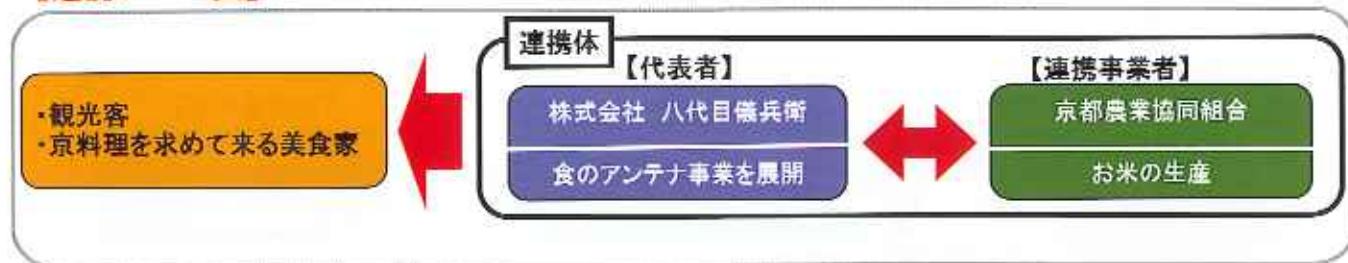
ほんまもんの米のおいしさを消費者に知ってもらい、低迷するお米消費の回復を図る。

【他商品との違い】

従来の米穀店と違い、実際に炊いた「ご飯」で提供できるアンテナショップを有しており、五感を通してお米のおいしさや日本の食文化のすばらしさを実感してもらうことができる。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

安定した需要の確保と雇用の増大

丹後地域のお米に対して安定した需要が見込め、同時にブランド化が促進されることにより、経営面積の拡大や雇用増大に着手することが可能となる。

中小企業者

新たな販路開拓の構築

地理的に観光客には訪れてもらうのが難しい丹後地域の農作物でも、京都祇園の料亭をアンテナショップとして活用することで、全国各地からの観光客に気軽に丹後地域農産物の良さを知ってもらうことが実現される。同時に定期購入やスポット購入ができる仕組みを作ることによって、今までにない販路が構築できる。

京都の原材料にこだわった和風洋菓子 「京まかろん」の製造販売

地元酒造業者が農家と連携、酒の製造過程で出る米粉と他の地域農産物の消費拡大を図るために牛乳や卵など南丹地域にこだわった材料を使用、京風にアレンジしたフランス焼き菓子マカロンを開発製造、女性杜氏のセンスを活かし女性をターゲットに日本酒とセットで販売する。

農林漁業者

河原林酒米生産グループ <亀岡市>

中小企業者

丹山酒造有限会社 <亀岡市>

連携参加者

美山ふるさと株式会社 株式会社福寿園

【連携のねらい】

○農業者

酒米の栽培農家を増やし、作付面積を拡大することで所得向上を図る。

○商工業者

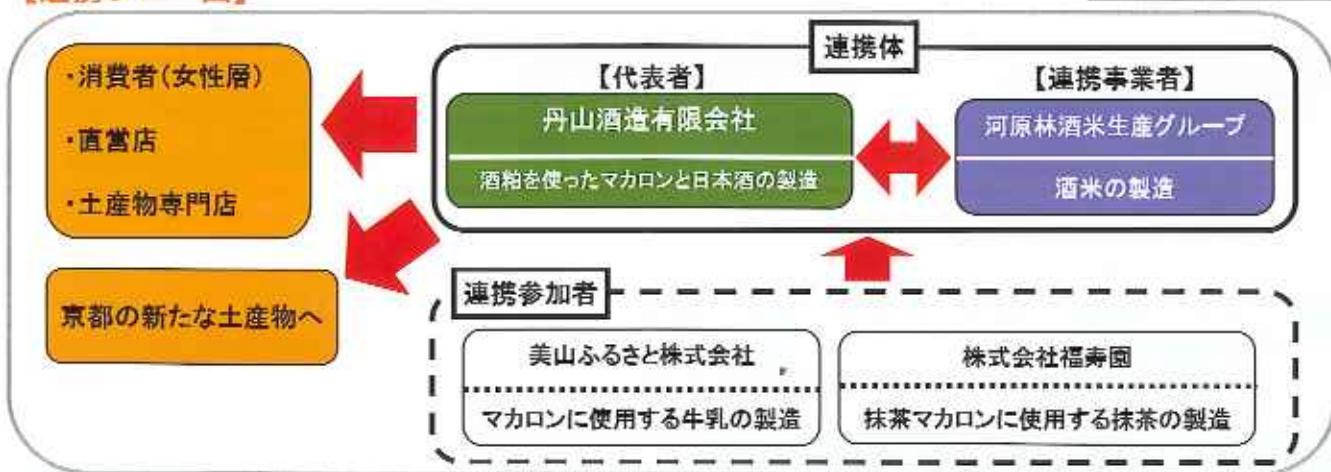
全量京都産の米を使った酒造りを目指す中、地元と密着した新商品づくりに取り組む。



【他の商品との違い】

自社の酒造のノウハウを活かし、マカロンの中のクリームに酒粕を使うなど自社特有のお菓子と日本酒をセットに販売をする。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

酒米の本格的栽培による所得の向上

酒米の本格的栽培により、生産面積を拡大し、所得の向上を図る。

中小企業者

売り上げ増加と京都産農産物の消費拡大

日本酒の魅力と京都産の素材で作った、日本酒にあうマカロンを京都物産展などで全国にPRし、京都への観光誘致および京都の新たな土産物として認知してもらうことで売り上げが増加し、京都産農産物の消費拡大の一助にもなる。

地元商品(地元の農産物を使った四季折々のいなり寿司)のブランド化による地域活性化

地域農家の7割が参加し、減農薬・有機栽培を行っている農業生産法人と、油揚げや和惣菜の製造を行っている中小企業者が連携、三和町地域の農産物だけで作ったこだわりのいなり寿司の開発・生産・販売とブランド化により地域を活性化する。

農林漁業者	農事組合法人かわい	〈福知山市〉
中小企業者	株式会社 京都庵	〈福知山市〉
連携参加者	松田食品工業株式会社	

【連携のねらい】

○農業者

安心・安全を重要視する消費者に、自然環境に恵まれた地元産の低農薬な食材を提供し、売り上げを増加する。

○中小企業者

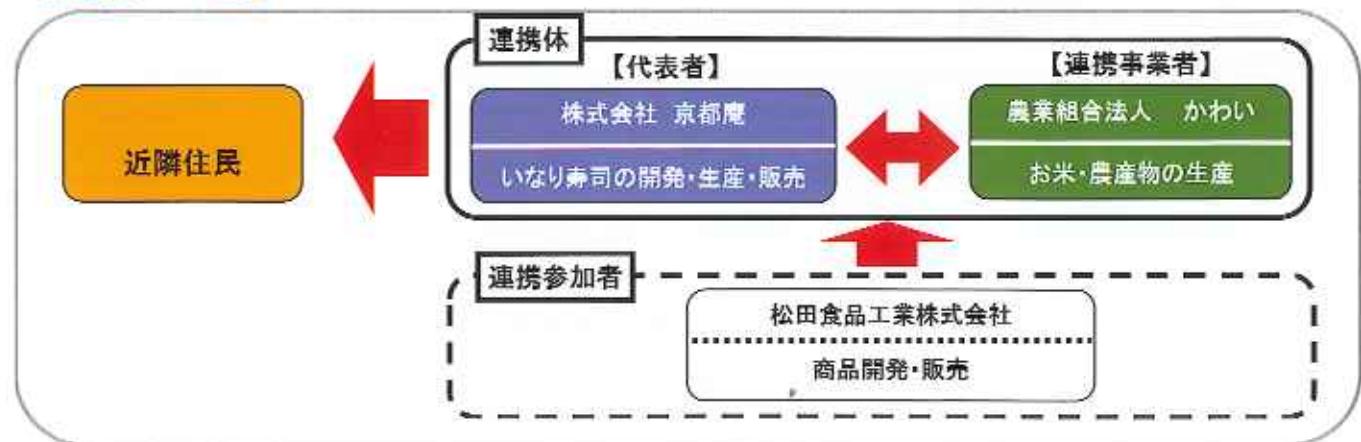
生産者の顔が見え、消費者が安心して食べられる、地元の食材を使つたいなり寿司・和惣菜を作ることにより売り上げを増加したい。

【他商品との違い】

美味しい「いなり寿司」を製造するのに適したお米を選定のうえ栽培し、地元の農産物を使った四季折々のいなり寿司を製造する。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者 雇用の確保と、販売単価の増加

地域の農産物を定期的に使用することで、安定した消費が見込まれ、売り上げが増加することにより雇用が確保される。また、特產品として定着すれば、他の農産物を組み合わせ、販売相乗効果が期待できる。

中小企業者 地域のPR

三和地域限定で販売する新商品を、百貨店の催事や展示会等に出店し知名度をあげることにより、三和町に足を運ぶ人を増やし、三和地域を活性化させる。

丹後アカモクプロジェクト ～アカモクを利用した商品の開発・販売～

今まで未利用であったアカモク資源を活用し、漁業者、一次加工を担う中小企業者、最終製品を加工する中小企業者が連携し、市場に無い製品(アカモク玄米ごはん、アカモクの湯通し品)を製作・販売する。

農林漁業者	養老水視組合	〈宮津市〉
中小企業者	(株)加悦ファーマーズライス 〈与謝郡与謝野町〉	かねと食品 〈舞鶴市〉
連携参加者	与謝野町農林課	京都府水産事務所

【連携のねらい】

○漁業者

今まで未利用資源だった海草類(アカモク)を活用し、所得の拡大を図る。



○中小企業者

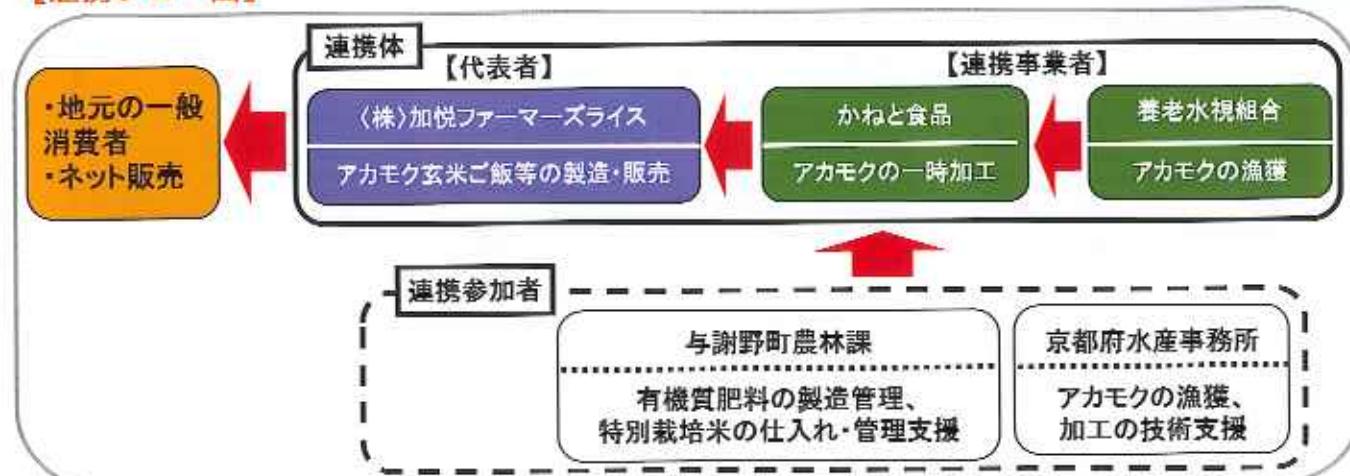
消費者からの安心・安全な生産者の顔の見える食品が要求される中で、米・地元水産物への消費拡大を図る。



【他商品との違い】

アカモクは府内で競合する商品が無く、アカモクと玄米ごはんを組み合わせた加工米飯は現在市場に無い。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者 アカモク使用による漁業従事者の雇用拡大と海域の水質浄化

アカモク使用による漁業従事者の雇用を創出する。また、アカモクの藻場を増やすことにより海域の水質を浄化する。

中小企業者 新規プロジェクトの育成

このプロジェクトを成功させビジネスとして確立することで、漁業者と商工業者の連携を深め、地域の水産資源を協働して利用し、第2、第3のプロジェクトを育てていく。

はちみつ販売業者と連携した新しいアイスクリームの開発及び販売

酪農体験農場がハチミツ業者と連携、健康志向の高付加価値商品「はちみつアイス」などを開発し、新たなマーケットに売り込むことにより、丹後地域の新たなブランド产品とするとともに丹後へ観光客を呼び込む。

農林漁業者	有限会社 丹後ジャージー牧場	〈京丹後市〉
中小企業者	株式会社 金市商店	〈京都市中京区〉
連携参加者	京丹後市商工会	

【連携のねらい】

○農林漁業者

新商品を開発し、連携先がもっている販路の活用により、アイスクリームの消費を増加させる。



○中小企業者

カタログギフトの人気商品であるアイスクリームと連携することでハチミツの消費を増加させる。



【他商品との違い】

ジャージー牛乳を使った「はちみつアイス」は、京都府内で取り扱いがなく、全国展開商品もない。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者 丹後の知名度上昇、ブランド力の向上と雇用の創出

本商品の知名度が向上し、ブランド化することにより、丹後産の商品の知名度も比例して向上する。また、販売額の増加による雇用の創出も期待される。

中小企業者 ハチミツの安定した消費

新たな商品が生まれ、ハチミツが安定して消費されることで経営の安定につながる。

山・野・海、体験ロード再発見プロジェクト

農事組合法人が、バーベキュー場、貸ログなどを経営するペンションと連携、京野菜の収穫体験、布袋(ほてい)さんの米の販売、干し大根、黒豆煮等の新商品開発を展開し、体験・物販・商品化の農村プロデュース事業を推進する。

農林漁業者	農事組合法人 田吾作	〈京丹後市〉
中小企業者	ファッションプラザ・モア、無人島	〈京丹後市〉
連携参加者	京丹後市観光協会、京丹後市商工会等	

【連携のねらい】

○農業者

食の安全安心のために顔の見える売買を望む購買層に販路を求め、売上げを増加することで、農産物価格の低迷、農業・農村の疲弊を開拓する。

○中小企業者

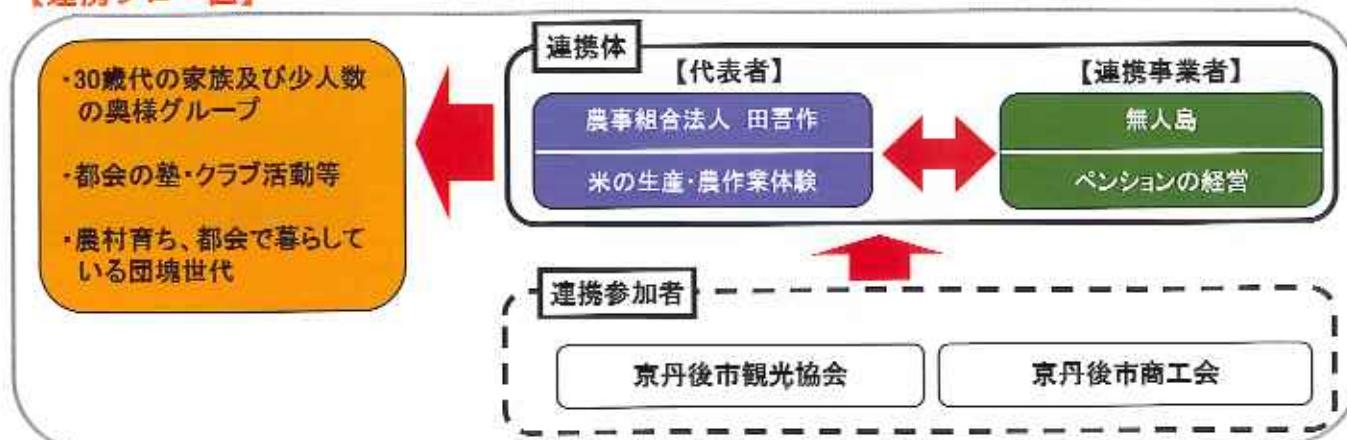
休暇や老後の過ごしが大きく変わる中で、参加型グリーンツーリズムの推進が図れる。

【他商品との違い】

丹後の海と山間の田んぼでの両方を体験でき、また食品・商品としての栽培などを通じて、国内農産物の良さや大切さを体感できる企画である。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

米のブランド化による経営回復

布袋さんの米のブランド化が実現すれば、米の販売が軌道に乗り、自社の経営や新たな農産物の作付地域への波及効果が期待できる。

中小企業者

観光事業の活性化

布袋野、久美浜の知名度のアップにつながり、観光事業の活性化につながる。

地域資源を使ったスイーツ開発とゆず村の振興

ゆずの栽培産地化で「ゆず村」をめざす畠郷ゆず栽培組合が、農産加工を得意とする農事組合法人グリーン日吉と連携、鳥獣害が少ない「ゆず」を原料としたスイーツなど新たな商品を開発し地域の特産品にする。

農林漁業者	畠郷ゆず栽培組合	〈南丹市〉
中小企業者	農事組合法人グリーン日吉	〈南丹市〉
連携参加者	畠郷地区 京都ノートルダム女子大学	

【連携のねらい】

○農業者

有害鳥獣被害と高齢化により年々増加している荒廃農地に、鳥獣被害の少ないゆずを栽培することによっ安定した収入が期待できる農業を確立させる。

○中小企業者

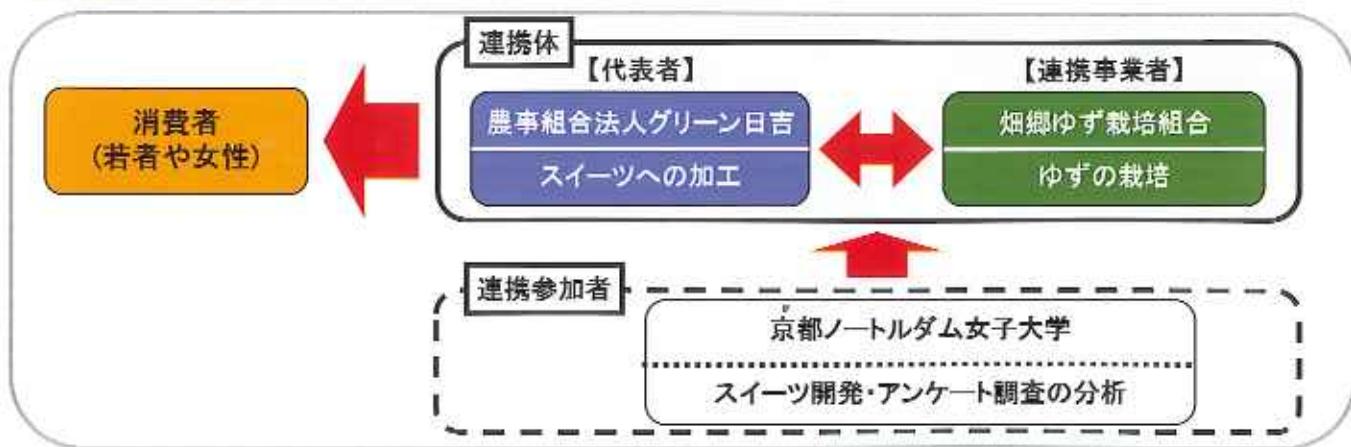
今までの黒大豆を使用した加工品だけでは販路拡大が難しく、新たな地域食材を使った商品開発をめざす。

【他商品との違い】

ゆずの産地化と併せて商品開発を行うことで限定イメージ戦略を展開する。



【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

荒廃農地の有効活用と農家所得の向上

有害鳥獣の被害で荒廃した農地にゆずを栽培することで農家所得の向上と地域力の向上につながる。

中小企業者

100%京都産のブランド化と雇用の促進

地域での新たな特産作りにあわせ、新商品「ゆずスイーツ」の開発販売によって経営改善を図る。

美山のこだわり野菜を利用したジャム・餡の製造 及び米粉パンの具にして美山で売る

農業者グループ、地域法人、障害者施設の連携により、規格外野菜を利用した餡やジャムを製造し、障害者施設が米粉パンの具材として利用、地域法人が開発するスイーツと併せて直売所で販売する。

農林漁業者	ふらっと美山生産者の会	〈南丹市〉
中小企業者	株式会社ネットワーク平屋	〈南丹市〉
連携参加者	ワークセンターびび 京都府南丹農業改良普及センター等	

【連携のねらい】

○農業者

美山町は、年間70万人が訪れる観光地で、農産物直売所では年間1億7千万円を売り上げるまでに成長したが、販売額が頭打ちになっており農家所得も伸び悩んでいた。



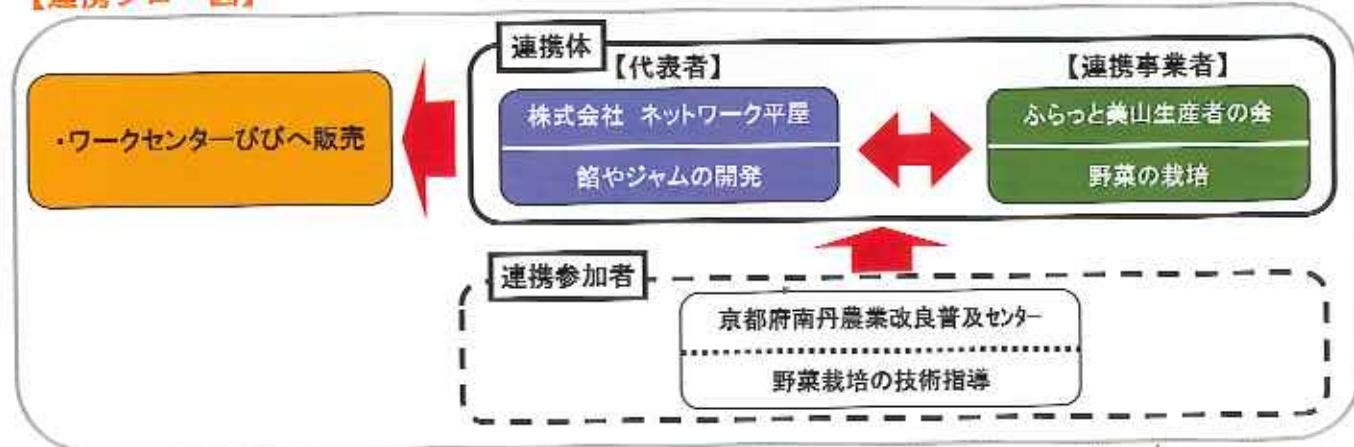
○中小企業者

加工事業を拡大し、美山の新たな観光資源を増加させ、地域の活性化を図る。



地域特産物を使った餡・ジャム等は障害者施設であるワークセンターびびが製造する米粉パンの具材として契約販売する。このように、すべて美山で製造される食品は少ない。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

規格外野菜の利用による農家所得の安定と向上

規格外野菜等の利活用が進み、農家所得の向上が期待できる。

中小企業者

雇用の創設と売上げ増加

加工事業の拡大により地域に雇用の場が生まれるとともに、売上げが増加し、地域法人として安定した経営ができる。

世界3大名茶を目指し、宇治茶を全世界に広げよう

荒茶生産農家と加工販売業者である組合が連携し、「玉露」「かぶせ茶」「煎茶」「抹茶」「ほうじ茶」など色々なお茶に対する嗜好調査を行い、ブレンド技術を磨き、海外の嗜好に合った商品の開発に繋げ、販路拡大と産地生産意欲の向上を図る。

農林漁業者

Association of 'UJICHA' to the world 〈和束町〉

中小企業者

京都やましろ農業協同組合 〈京田辺市〉

連携参加者

JA京都中央会、JA全農京都、農協観光等

【連携のねらい】

○農業者

食文化の変化やペットボトル化により高級な宇治茶の需要が減速しており、新たな市場を探していた。

○中小企業者

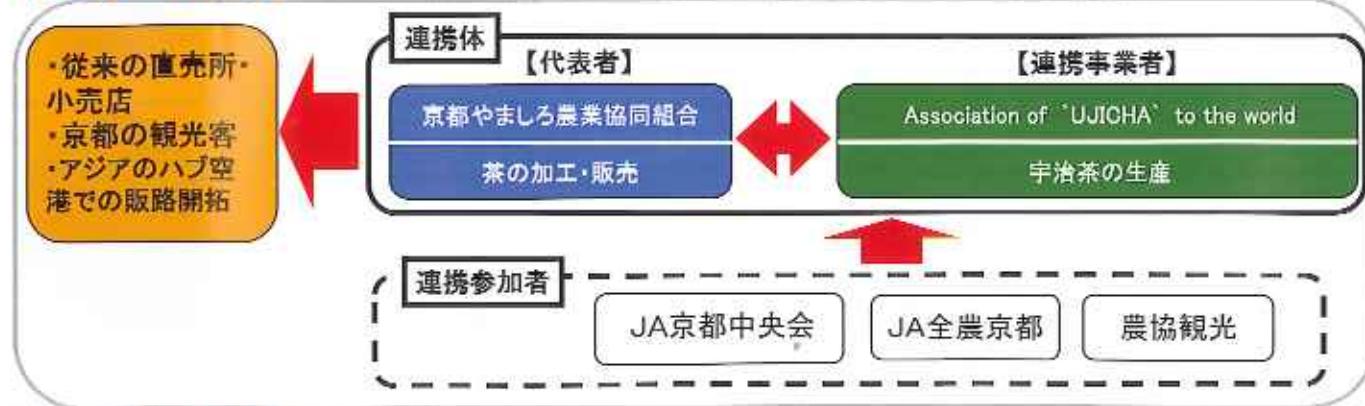
近隣の外国の観光客が増え、お土産としての茶の需要が見込まれるようになってきた。京都の茶文化を守りつつ、海外の嗜好にあわせたブレンドの技法による新商品を開発する。



【他商品との違い】

海外向けに嗜好調査した結果に基づきブレンドした宇治茶は他にはない。

【連携フロー図】



【連携による効果】

農林漁業者

価格の安定と生産意欲の向上による地域の活性と雇用の創出

国外に市場を広げることにより、宇治茶の需要を増加させ、価格の安定と茶農家の生産意欲向上により、地域の活性と雇用を生み出す。

中小企業者

商品開発による宇治茶ブランドの拡大

世界において知名度が十分でない宇治茶を、海外向けに商品開発することによって世界的ブランドに押し上げる。

平成21年度きょうと農商工連携ファンド支援事業助成金採択事業一覧

申 請 者 名	区分	所在地	事 業 概 要
中野 浅男	農林漁業者	宮津市	<p>苺生産時に出る粒不揃いの商品を使用した苺スパークリング酒の開発・販売</p> 
ハクレイ酒造（株）	中小企業者	宮津市	<ul style="list-style-type: none"> 需要期外や規格外の苺を冷凍保存し、苺リキュールに加工販売
岩井 龍也	農林漁業者	伊根町	<p>規格外京野菜を活用した独自加工品（九条ねぎ味噌、伏見唐辛子味噌）の開発、製造、販売事業</p> 
筒川味噌の会	中小企業者	伊根町	<ul style="list-style-type: none"> ブランド京野菜の規格外品を活用し商品開発、販売
古関 嶽	農林漁業者	福知山市	<p>京都夜久野高原 元気な野菜のお菓子と惣菜</p> 
(有) サリィズ	中小企業者	福知山市	<ul style="list-style-type: none"> 規格外農産物を料理店のノウハウで総菜、菓子に加工販売
田井 進	農林漁業者	京丹波町	<p>命を粗末にしない循環ビジネス —鹿肉・猪肉を食卓に—</p> 
(株) スキッスジャポン	中小企業者	京都市中京区	<ul style="list-style-type: none"> 農林産物に被害を与えていた猪や鹿の肉を和知猟友会メンバーが狩猟し、精肉、皮を加工販売する。ネット販売や店舗食材としての卸販売
(有) 山国さきがけセンター	農林漁業者	京都市右京区	<p>純地元産の農産物を使った地産地消型レストランの展開</p> 
(有) 和風レストランけいほく	中小企業者	京都市右京区	<ul style="list-style-type: none"> 京北特産の納豆もちづくりの体験施設を整備。あわせてもち商品、さば・へしこそばを提供。商工会の協力も得て体験型観光を展開
ふれあい朝市生産者連絡会 生産者代表 比賀江 義次	農林漁業者	京都市右京区	<p>地元の野菜を「京北杉」で燻つた、いぶり干し产品づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 商工会女性部で取り組んできた特産品開発事業をベースに、ふれあい朝市生産者グループ、京北銘木生産協同組合とも連携し、いぶり干し食品生産の独立事業化 
京都・京北つけもの工房いぶり 一瀬 裕子	中小企業者	京都市右京区	

きょうと農商工連携応援ファンド支援事業とは・・・

京都府内の農林漁業者と中小企業者が密接に連携し、それぞれの強みを活かして創業や経営の改善・向上を図る取り組みに対して助成金を交付し、新たな京都ブランドの創造や地域経済の活性化を図ろうとするものです。（平成21年度～30年度まで実施）

対象事業者

京都府内の農林漁業者と中小企業者の連携体

対象事業

京都府内の農林漁業者と中小企業者が密接に連携し、それぞれの強みを活かして創業や経営の改善・向上を図る事業であって以下に掲げるもの

- 【1】地域の農林漁業資源を活用した新商品・サービスの開発、提供により新たな京都ブランドの創造・発展に資する事業
- 【2】新たな農林漁業ビジネスの創出により地域経済の活性化に資する事業
- 【3】その他上記に準ずる事業であって審査委員会で認められたもの

助成金

助成率 対象事業費の2／3以内
助成限度額 1申請事業あたり300万円以内
助成期間 原則として1年以内【特認2年】

お問い合わせ

- 財団法人京都産業21 連携推進部
〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 TEL:075-315-9425 fax:075-314-4720
- 京都府農林水産部担い手支援課 農業ビジネス担当
〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町 TEL:075-414-4908 fax:075-414-5039
- 農業ビジネスセンター京都((社) 京都府農業総合支援センター内)
〒602-8054 京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104番地の2 TEL:075-417-6888 fax:075-441-5742
- 京都府山城広域振興局農林商工部企画調整室
〒611-0021 宇治市宇治若森7の6 TEL:0774-21-3211 fax:0774-22-8865
- 京都府南丹広域振興局農林商工部企画調整室
〒621-0851 龜岡市荒塚町1-4-1 TEL:0771-22-0371 fax:0771-21-0118
- 京都府中丹広域振興局農林商工部企画調整室
〒625-0036 舞鶴市字浜2020番地 TEL:0773-62-2508 fax:0773-62-2859
- 京都府丹後広域振興局農林商工部企画調整室
〒627-8570 京丹後市峰山町丹波855 TEL:0772-62-4315 fax:0772-62-4333